

Report 2025/07/02

学生主体の運営と デュアルキャリアの推進について

川崎 和葉里 Yayori Kawasaki

自己紹介

2015年 東洋大学入学

関東学生陸上競技連盟(以下、関東学連)に加入

2018年 関東学連 幹事長に就任

2020年 一般企業に就職(~2025年3月まで在籍)

2024年 関東学連の法人化とともに理事に就任

2025年 実業団の新チームとして発足した、

「MABPマーヴェリック」にマネージャーとして加入

Agenda

- 01** 関東学連の運営における現状
—大会運営の概要と学生の役割
- 02** デュアルキャリアとしての価値
- 03** 教育的価値
- 04** 今後の課題と展望
- 05** まとめ



関東学連の運営における現状

一般社団法人関東学生陸上競技連盟(以下、関東学連)とは、関東地区で行われる大学生の陸上競技の大会を運営している団体である。

学生主体であることに変わりはないが、2024年から法人化をしたことにより、運営体制や意思決定の透明性・責任がより明確になり、社会的信用度も向上した。





大会運営の概要と学生の役割

開催予定月	大会
5月中旬	関東学生陸上競技対校選手権大会
6月下旬	全日本大学駅伝対校選手権大会関東学連推薦校選考会
7月中旬	関東学生網走夏季記録挑戦競技会
8月上旬	トワイライト・ゲームス
9月中旬	関東学生新人陸上競技選手権大会兼関東学生リレー競技会
9月末	関東大学女子駅伝対校選手権大会
10月中旬	東京箱根間往復大学駅伝競走予選会
11月中旬	10000m記録挑戦競技会
1月2・3日	東京箱根間往復大学駅伝競走
3月下旬	関東学連春季オープン競技会

他、学生審判員養成の為の講習会や各種会議の開催など関東学生陸上界の発展のために様々な活動



大会運営の概要と学生の役割

学生が担う主な役割

競技運営	会場設営・競技進行
広報	SNS・プレス対応
印刷	プログラムやポスターの作成
安全管理	危機管理・警備との連携
記録	タイム・リザルト管理
会計	予算作成・収支管理
会場調整	使用許可・設営計画
スポンサー対応	協賛企業との折衝
地域連携	団体・自治体との調整

デュアルキャリアとしての価値

■学業との両立：

平日昼は大学の授業、夕方や夜に会議・作業スケジュール調整

■運營業務：

会議・作業日程の調整、役割の分担

■タイムマネジメント：

→ 複数のタスクを「優先順位をつけて捌く」経験が日常的にある

→ ビジネススキルに直結する力（PDCA／タスク分解／調整力）

教育的価値

■実践型キャリア教育

自分たちで課題を発見・改善し、PDCAを回す経験
プレッシャーの中での判断力・対応力の向上

■チームワークとリーダーシップ

年齢・大学を超えた連携（学年・役職の縦横の関係性）
リーダー層は部下育成や意思決定を体験

■社会人基礎力の習得

「報連相」「タイムマネジメント」「責任感」
指示待ちでなく、自ら動く姿勢が求められる



教育的価値

教育的価値	学連運営での実例
主体性	競技進行の改善提案・運営ルール見直し
協働力	他地区や各大学との連携
柔軟な対応力	突発的なトラブル対応
コミュニケーション力	外部（自治体、企業、メディア）との折衝
PDCAの運用経験	毎大会後の反省と次回への改善策の実行



今後の課題と展望

- 時間負担の軽減と効率的な運営体制の構築
- キャリア支援との連動（インターン連携など）



まとめ

- 陸上競技を「支える側」でも、成長と学びがある
 - 企業や地域と連携したプロジェクト学習の推進
ボランティアで終わらせず、「評価・称賛される」
仕組みづくり
 - 大学生活、キャリア、大会運営の“三立”は可能
- 